

のぞき消化器IBDクリニック

消化器内科、内視鏡内科、内科



長引く腹痛や下痢、粘血便 専門医を受診し 早めの治療を心掛けましょう

野崎 良一 院長

日本消化器病学会認定消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医

患者さんが増加しているというIBD（炎症性腸疾患）とは、どんな病気ですか。

腸に炎症を起こす病気で、主に潰瘍性大腸炎とクローン病を指します。潰瘍性大腸炎は大腸、クローン病は小腸や大腸などの粘膜に炎症を引き起こす病気。どちらも慢性的に血便や下痢、腹痛、発熱、貧血などの症状が現れる原因不明の疾患で、難病に指定されています。IBD患者数は増加傾向にあり、全国で潰瘍性大腸炎は約22万人、クローン病は7万人と推定されます。

「どんな治療が必要ですか。」

多くは、病状が悪い活動期と落ち着いている寛解期を繰り返します。活動期は症状を抑えるため、寛解期は良い状態を維持するために薬物療法を中心に、食事療法、栄養療法（クローン病の場合）などで治療を行います。特に寛解

期は厳格な食事療法は不要ですが、高脂質、高繊維食や刺激物を控えてバランスの良い食生活を心がけることが大切です。潰瘍性大腸炎の劇症型の場合などは外科的手術を行うこともあります。

「IBDと診断されたら、将来どうなるのでしょうか。」

かつては、症状が悪化する和生活の質が低下し、従来通りの生活を諦めざるを得ないこともありました。しかし最近有効なIBD治療薬が増え、治療を継続しながら健常者と同じように生活を送ることが可能になっています。ただし、一人一人症状が異なるため、薬剤や治療法の効能、副作用に熟知した専門医が個々に合った治療を行うことが重要となります。入院や手術に至らないよう、長引く腹痛や下痢粘血便は放置せず、早めに消化器内科を受診しましょう。

DATA

〒861-2236

上益城郡益城町広崎1572-1

☎096(285)3373

診 月・火・木・金曜 8時半～11時半、13時～17時受付

水曜 8時半～11時半、土曜 8時半～12時受付

※水曜は検査のみ

休 水・土曜午後、日曜・祝日

HP <https://nozaki-ibd.com/>

